



創英の風

2022年夏号
(第23号)

2022年7月4日発行
発行人：上條 優子（図書館長）
編集人：図書・研究委員会

教職員からのおすすめ本



看護学部 中村 由美子先生

『あかね空』文春文庫

山本一力/著
出版社名 文藝春秋
出版年月 2004年9月



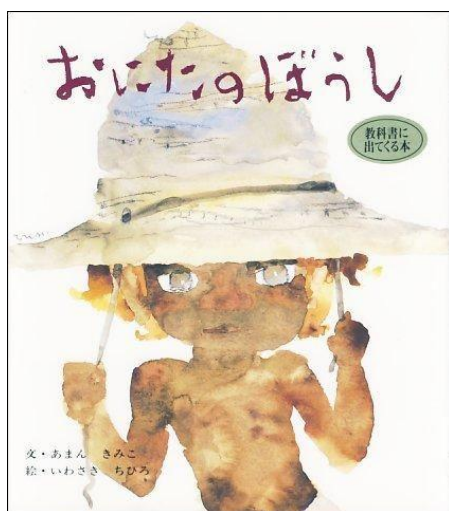
私のおすすめの本は、第126回直木賞受賞の「あかね空」です。山本一力氏の時代小説であり、江戸の下町を舞台に物語は始まります。

永吉という主人公は、京都の貧しい家を出で、幼いころ豆腐屋に奉公に出され、暖簾分けをされて江戸の町へとやってきた豆腐職人です。永吉は何とか独り立ちをし、長屋で暮らすおふみとも夫婦となり、3人の子供達との人生を描いたものです。長男の抱え込んだトラブルで家族は揉めますが、その後は家族としてまとまっていきます。幼いころの長男の事故(やけど)がきっかけとなり、母であるおふみは長男を溺愛し、そのことが、家族の不和の原因ともなります。私は、家族のありようが変化することがとても面白く、また、家族とはと考えさせられる本です。「堅気衆がおれたちに勝てるたつたひとつの道は、身内が固まることよ。」と傳藏親分がいったように、家族は一緒に幸せになることが大切だと思うのです。映画にもなったので、DVDもお勧めします。

こども教育学部 根本 徹先生

『おにたのぼうし』

あまんきみこ/作 いさわきちひろ/絵
出版社名 ポプラ社
出版年月 1969年7月



「鬼のような人」という表現があります。

しかし、この作品は、それとは真逆の、「人のような鬼」、いえいえ、「天使のような鬼」のお話です。作品は、心温まる部分と共に、大人や子どもの心に突き刺さる何かを残してくれます。短編ではあるものの、その突き刺さり方は、あなどれません。作品との出会いが、『鬼』とは何かを改めて問い続ける契機になれば幸いです。

今、この名作は、小学校第三学年の国語教材として採用されています。でも、調べてみると、県内では、この作品を掲載する教科書会社の採択地区は、ごくわずかでした。県内の第三学年は、これまた名作「スーホの白い馬」(モンゴル民話)に親しんでいるようです。大人の気分転換に、学生の学びに、そして、子どもにお勧めです。



教職員からのおすすめ本



看護学部 杉山 洋介先生

『空中ブランコ』文藝春秋

奥田英朗／著

出版社名 文藝春秋

出版年月 2008年1月

直木賞を受賞した「医学博士・伊良部一郎」シリーズ第2弾です。短編なので読みやすく、とにかく笑える本なので、ぜひ手に取って欲しいです。

跳べなくなったサーカスの空中ブランコ乗り、先端恐怖症のヤクザ、強迫観念症の大学医学部講師など、ストレス社会で心病める患者に応える伊良部医師の型破りな治療が、実は「痴愚魯鈍」の類いでなく理に適ったものだど悟り、通院を繰り返すうちに治癒していきます。理にかなっているけど自分には「常識」や「理性」が邪魔してできないことばかり、でもそれが読んでいて気持ちいい。ここまで地位や名誉、常識にとらわれず、自分に素直に生きている姿がちょっと羨ましいと感じてしまいます。気分転換にぜひどうぞ。

看護学部 久保木 紀子先生

『ルポ 児童虐待』朝日新書

朝日新聞大阪本社編集局／著

出版社名 朝日新聞出版

出版年月 2008年7月



「虐待で苦しむ子どもを一人でも減らすために」と、本書が発行されています。

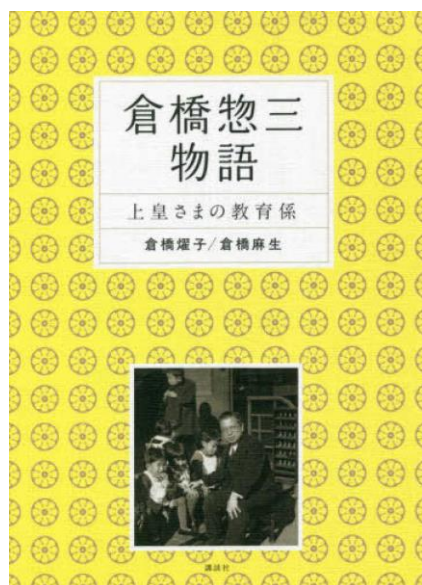
厚生労働省によると、令和2年度に78名の子どもが虐待により死亡しています。およそ5日間に1人の子どもが亡くなっていることになります。また、死亡事例以外でも多くの子どもたちが虐待を受けて心身に深い傷をおっています。

本書では、専門書のような難しい表現はなく、子ども、保護者、支援者の視点で綴られており、深く考えさせられる内容です。死亡事例のことだけでなく、虐待を防ぐことができた事例や児相、教師、養護施設の職員の取り組みと葛藤、里親の愛情、被虐待児のケアなど、子どもたちを取り巻く状況が記録されている内容となっています。

教育や看護を学んでいる学生 みなさんに、ぜひ手に取っていただきたい1冊です。



教職員からのおすすめ本



こども教育学部 田中 君枝先生

『倉橋惣三物語 上皇さまの教育係』

倉橋耀子 倉橋麻生/著

出版社名 講談社

出版年月 2021年11月

倉橋惣三氏は、“近代幼児教育の父”等と呼ばれ、現代の保育、幼児教育に大きな影響を及ぼした歴史上とても偉大な人です。

明治、大正、昭和を生き抜き、その中で第一次、第二次世界大戦、関東大震災、日本国内での死者が数十万人となったスペイン風邪の流行等大きな社会的な状況をいくつも体験してきました。日本の「教える」保育方針から「子どもの内なる力を信じて自由に伸び伸び育つ」考え方をつくりあげた功績もあります。

この本は昭和13年(1938年)から現在の上皇陛下の皇太子時代に教育係を務めた時の様子だけではなく、幼少期からの育ちも記されており、倉橋惣三氏の意外な一面に出会うことができます。旧来のルールに固執した当時の日本に対して、自身の考えを貫いた生き方は幼児教育に限らず、すべての人へのメッセージにもなっています。

「幼児教育とは、人間の根っこを育てること。しっかりした根っこが育っていなければ、きれいな花は咲くはずもない。」倉橋惣三氏の優しさをたくさん見つけてください。



こども教育学部 田中 君枝先生

『へいわとせんそう』

たにかわしゅんたろう/文 Noritake/絵

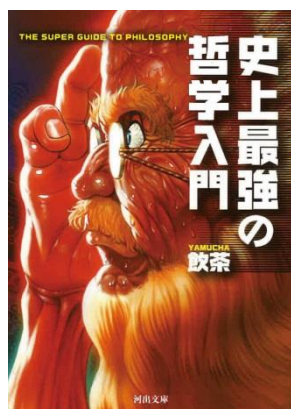
出版社名 ブロンズ新社

出版年月 2019年3月

戦争という重大なテーマを取り上げています。今私達の身近で起こっている悲しい出来事を詩人の谷川俊太郎さんはどのように伝えるか熟慮され完成した絵本がこの「へいわとせんそう」です。厳選された言葉とシンプルな絵、多い余白、読んでいる子ども達や私達に考える時間を与えてくれます。詩人である谷川俊太郎さんの言

葉は常に多くは語りません。その一つ一つの言葉の中に込めた思いは、私達がいろいろな考えを巡らすように誘ってくれます。

絵本にはたくさんの魅力がありますが、子ども達が自分で答えを見つけ、探し、悩み、心を動かす体験は大きな魅力です。是非皆さんも手にとって考えてみてください。



図書館 司書スタッフ

『史上最強の哲学入門』河出文庫

飲茶/著

出版社名 河出書房新社

出版年月 2015年11月

図書館のお仕事は、利用者から色々な質問を受けるので、広い知識が必要になります。ですが、私は宗教・哲学の分野がとても苦手でした。質問を受けてもいったいどの本を読めば回答を見つけるのか分からず、大変苦労していました。そんな折、自学自習の本を探していて出会った本がこれです。

宗教や哲学の本は古代西洋の歴史を中

心に語られていくので、西洋史が苦手な私は拒絶反応がでるのですが、この本は哲学者ごとの、それぞれの考えを教えてくれるので、「ソクラテス」が「無知の知」で言いたいことがすぐに理解できます。

全部で31人の哲学者が紹介されますがどれも有名な人ばかり。読んでおいて損はない1冊です。興味を持ってもらえたら、まえがきだけでも是非読んでみてください。



図書館からのお知らせ

①メディカルオンラインがリモート対応！
学内のパソコン以外からもアクセスができるようになりました。ただし事前の手続きが必要です。

手続きの方法は図書館に
説明書がありますので、
ご自身で手続きしていただきます。



②館内の飲料エリアが拡大

これまでは「ドリンクコーナー」だけでしたが、館内のAVルームを除く閲覧席で飲むことができるようになりました。

ただし密閉できる容器に限ります！



③本のリサイクル市 開催中

図書館ゲート前にて、保管期限の過ぎた他大学紀要や、看護師国試対策本等を無料でお譲りしています。7月8日(金)まで開催中！

展示コーナー歳時記

7月～9月 心と体を整える
～夏に向けてリフレッシュしませんか～

内容:

これから暑くなる季節に向けて、様々な角度から健康について考える本を揃えました。

疲れた心と体をいったん休めるヒントが詰まっています。



図書館開館予定

2022年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2022年8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

□ 8:30～20:00

■ 10:00～17:00

■ 短縮開館 9:00～17:00

■ 休館日

開館日・開館時間は変更になる可能性があります。
その際は、掲示等にてご案内いたします。